

第4回花き産業関係者交流会開催要領

1 目的

花き産業のより一層の振興を図るため、花き産業関係者が集い情報交換を行うことで、新たな人間関係の構築、販路の拡大、業種間連携の促進等を図る。

2 開催テーマ

「心の豊かさ・満足を与えられない花業界への警鐘」

3 主催

新潟県花と緑の普及推進協議会

食と花の世界フォーラム組織委員会

「春一番、にいがた花三昧。」連絡会議

4 開催日時・場所

平成25年4月27日（土）午後4時～午後5時30分

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4階 越後

（〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口1-1 TEL: 025-240-2111）

5 参集範囲

花き市場関係者、花き小売業者、花き流通業者、生産者、農協関係者、行政関係者 他

6 講師

岐阜大学 応用生物科学部学部長 農学博士 福井 博一 氏

○職歴

昭和60年（1985年）	10月	岐阜大学	講師	農学部
昭和63年（1988年）	10月	岐阜大学	助教授	農学部
平成8年（1996年）	11月	岐阜大学	教授	農学部
平成16年（2004年）	4月	岐阜大学	教授	応用生物科学部
平成25年（2013年）	4月		現職	

元気があるといわれる岐阜県の花き産地の立役者の一人。積極的に生産者等と交流を持ち、花き生産や流通のあり方などの検討を行い、地域のリーダー的存在として活躍されている。生産から消費まで、幅広い知識を持ち、輸出等を含めた今後の花き産業が目指すべき方向などについて助言を行っている。また、花き産業への課題の投げかけや現状などを綴ったブログ「福井教授の一言コラム」も執筆している。

福井教授の一言コラム URL:<http://www1.gifu-u.ac.jp/~fukui/0701.htm>

7 講演内容

演題（予定）

「心の豊かさ・満足を与えられない花業界への警鐘」

～アメリカの切花産地崩壊から学ぶ、今後の花き振興戦略～

年齢層別のさまざまな消費傾向を基にした、花きの主要顧客の設定とその消費層に対する戦略を、実例を交えて紹介する。

また、スーパー等による切花の安価販売等を押され、切花生産が弱体化したアメリカなどの事例をもとに、そのことによって「得をするのはいったい誰なのか？」を投げかけ、日本の切花販売がアメリカ化をはじめている現状を紹介し、花き産業が目指すべき方向性を紹介する。

8 参集者募集者数

100名程度

9 参加費

無 料

10 開催スケジュール

15:30～	受付開始
16:00～16:05	開会あいさつ
16:05～16:08	講師紹介
16:08～17:15	講演
17:15～17:30	質疑応答
17:30	閉会
17:40～19:40	懇親会（講師出席予定）

